

第55回 エフエム伊東 番組審議委員会

議事録

会議場所

伊東ふれあいセンター3階
多目的ホール

日時

令和6年3月19日(火)
19:00~20:30

出席者

稲葉雅之・山下明子・片山清香・渡邊将 各委員
水口進吾・山田毅・土屋由美子・小川嘉洋 各委員は文書で回答
放送事業者: 小柳代表・岩崎局長・池田編成局長・金指

【議事】

小柳代表取締役より挨拶、委員の紹介、現状説明があった。
事務局より、生放送番組についての説明があった。
事務局より、新番組について、その他活動について報告があった。

審査委員より意見、感想

*テーマ: 生放送番組の番組内容と放送時間について

特に防災情報は、パーソナリティーの防災の意識を高めるため、生放送に入れている。

「なぎさMorning Wave」の生放送は午前7時30分~9時の放送時間で、出勤の時間に聴いてくれている方もいる。

「〇〇からのひとこと」は、パーソナリティーそれぞれが前向きになる言葉を選んでいる。

曜日ごとにゲスト(郷土研究会さんなど)をお迎えしている。

「クロストーク(あたま)」では熱海市と伊東市の地域情報をそれぞれ交換している。

昼の生放送は仕事の方が多いため、朝の方が比較的聞きやすい。

放送時間は他の局ではもっと早いところもあるが、パーソナリティーに負担をかけてしまう。

「なぎさSeaside Tune」の生放送は午前11時~午後1時の放送時間である。

「気になる話題」では、伊豆新聞からピックアップしている。

「I LIKE it」はパーソナリティーがおすすめるものを紹介している。

「今日は何の日」では、パーソナリティーが選んでテーマを決めている。

ゲストには、伊東警察署や国際交流協会をお迎えしている。

「クロストーク(伊豆の国)」では、伊豆の国市と伊東市の情報交換を行っている。

昼間の生放送は、のんびり、ゆったりで、掃除しながら、運転しながら聴いてもらう。

メッセージがあればリスナーとやりとりしている。

「なぎさDriving Navi」の生放送は午後5時30分~午後6時30分の放送時間である。

交通情報、競輪、天気、伊東観光情報を流している。市内の情報に重点をおいている。

「SATURDAY☆ISIAND」の生放送は土曜日の午前8時30分～午前9時までの放送時間である。

「SUNDAY☆ISIAND」の生放送は日曜日の午前8時30分～午前9時までの放送時間である。

「なぎ散歩」の生放送は土曜日・日曜日の午後1時～午後3時までの放送時間である。

「Driving Navi Saturday」の生放送は土曜日の午後5時～午後5時44分までの放送時間である。

週末は、平日のまとめとなっている。

観光客向けの発信内容となっている。防災情報は毎日入れている。

「なぎ散歩むは、ゆったりと2時間の中で楽しく伝えるようにしている。

「ピックアップミュージック」は、何周年になるアーティストの曲やバースデーアーティストを紹介している。

審議委員:

時間帯が違ってもどの番組も同じような印象で捉えている。タイトルほどの特徴はない。

車で聴くことが多いため、断片的に聴いてしまうので、ながら聴きになってしまう。

特徴があればよいと言うわけではない。

地域エフエムの役割である必要な情報は、出ていると思う。

ただ、車の中で聴けるものはラジオだけではないので、YouTubeを聴いてしまうこともある。

英会話の勉強では車の中で流しっぱなしになるように、FMの枠が自分の中で減っている。

FMは流しておいて安心感がある。生のおしゃべりはゆったりしていて、聴く人に配慮された話し方なので、心地よい時間ではある。また有益とまではいかない地域情報も、聴いていて安心感があり、エフエムにしかないよさがあり役割はしっかりしている。

FM伊東事務局:

自分のために話してくれると思ってくれることがラジオの強みである。

人が話してくれる言葉は機械音と違い落ち着く。

ラジコのようにアーカイブがないので、その時しか聴けないのも生放送のラジオの強み。

市外・県外の聴衆者も多く、メッセージも多い。市内の方は静かに聴いてくれている。

入院中に聴いて励まされたという声もあった。

何人聴いてくれているか、Radimo以外では正確な数字の把握はできないが、きっと届いていると思っている。

FM伊東事務局:

メッセージのやりとりが交流になっている。ラジオから自分のメッセージが流れるとリスナーも喜んでいる。

審議委員:

聴きだすと、面白い話も多い。車で圏外になっても、もっと聞きたくなる。

審議委員:(書面)

朝、昼、夕方と生放送番組があるのは、その時々天候や交通情報などを直に届けられるのでとても良いと思う。スタッフや出演者の方は毎日情報収集や話題探しが大変だと思うが、車移動している方だけでなく、遠方から聴いている方なども多いと聞くので、これからも伊東の新鮮な情報発信を続けていただきたいと思う。

それぞれのパーソナリティーの個性が出ていて、各曜日とも楽しい放送になっている。

「なぎ散歩」は週末らしい内容になっている。

審議委員:(書面)

番組制作に若いスタッフの意見を多く取り入れて現在にマッチした楽しい且つ聞きやすい放送が流れていると聞き及ぶ。

郷土をテーマとした土屋由美子さんや島田須賀子さんの話が好き。

伊東の方言や伊東の昔話など時代とともに消えていく言葉やイントネーションなどの記録はラジオならではのと思う。

FM伊東事務局:

年輩の方より話し方が早すぎて聴き取れないという声もあるがどうか。

審議委員:

あまりゆっくりすぎても間延びしてしまう。普通のタイミングでよい。

お知らせなどゆっくりすぎると思うこともある。

審議委員:

会話のような臨場感があるとよい。

メッセージは返ってくると嬉しい、生放送のよさである。

ラジオは仕事があるため、朝と夜の一部しか聴けない。

地元なのでリアルな情報は欲しい。道路情報は常に拾いたい。

話し方については、相手による。

年輩の方に聴いてもらいたい情報はゆっくり話すとよい。

ラジオは言葉で起きていないので、聞き逃すこともあり、それが生放送の醍醐味。

伊東市に住んでいるので、伊東の情報は欲しい。

興味のないところは聞き逃して、欲しいところだけ拾う。

審議委員:

仕事で朝は聴けていない。情報のタイミングが時計がわりになっている。
だいたいひとりで話しているので、掛け合いがあってもよいと思った。
消防の方のお話は重要だが、硬くてつまらない。
ラジオの分類が何かと考える。娯楽なのか、教育テレビなのかなど。
議会中継など聴きだすと面白い。
日替わりのゲストもあるとよい。
特定のCMの曲が古いように感じる。

「良藤有三の心の湯たんぽ」の歌謡曲や「しょてーらくゆみちゃん」の昔の話のかけあいは面白い。聴こうと思わせるものをもっと考えた方がよい。

審議委員:

一般の方をボランティアで出演させてはどうか。
こんなことを話せる人などテーマを決めてもよい。
ひとりもしくはふたりと、パーソナリティーで行うなど。

審議委員:

昼の生放送は仕事なのでなかなか聞けない時間。
夕方は、食卓の前だとテレビになってしまう。
美容室など、コロナの影響後そのまま雑誌が置かれていない。
そういった待っている時に流してもらえると意識して聴ける。

FM伊東事務局:

美容室や縫製工場などは、つけっぱなしで聴いてくれている。
高齢の方もつけっぱなしで聴いてくれている。
聴いてくれている層の年齢幅が広い。ラジオ以外で聴いている人も多い。
昔はラジオしかなかったが、今はスマホのアプリでも聴ける。
伊東市さんの整備工事のおかげで、他の市町より可聴範囲は広い。

審議委員:

ラジオは真面目でなければいけないのか?そういった役割なのか?
最初のきっかけがあり、面白ければ聴く。ひとりだとその人の枠を超えない。掛け合いが面白い。

審議委員:

社会的な役割ははたしている。
聴いている方のそれぞれの好みもあり限界はある。

FM伊東事務局:

情報以外はフリーで話すのでパーソナリティーの個性が出るようにしている。

聴衆率は上げたい。聴衆率を上げることでCMの価値が上がる。

災害にあった場合に備え、常日頃から聴いてほしい。

新番組について

FM伊東事務局:

最近配信を行う人が多く、その先に「ラジオをやりたい」があり、新番組へと繋がっている。スポンサーがついている番組もある。

起業する方のためになる番組や、切り口が面白い番組、また自分がしゃべりたいことを話す番組や、鉄道好きの女性の方が伊東線沿線や旅のことを話す番組、また生放送で音楽の話など自分が思っていることを話す番組が新番組となっている。

今はCM広告での依頼が難しい。新番組の依頼の方が興味をもってもらえる。

FM伊東事務局:

自分たちが思っていることや、ラジオを通じて皆に伝えたいことなど、放送料をいただいて自由に話している時間枠である。もちろん内容の精査はしている。

その他意見

小学校へ行って「ベスト10」を聴く。それを収録して別の日に流す。

学校でも聴いてくれると思うし、自分の子供が出ると聴いてくれる家族も多い。

どうしても仕事を持っている人は聴けない。

うちの子が出るとなると広がる。知っている子供が出るかもしれないというローカルの良さをいかすと良い。

地域の会社や学校を巻き込んでいく地域密着型になるとよい。

小さい頃からラジオを聴くという習慣がつくとよい。76.3MHzを浸透させる。

中継をもっとするとよい。目に触れるのでやっているなどと思う。

スタッフの皆さんがプライベートで街のニュースを拾って、生の音声で放送すれば面白い。

緊急時の連携がもっと進むとよい。情報発信するところは責任を伴うが、オール伊東で連携して行って欲しい。

レンタカーで76.3MHzを流してもらおう。

FM伊東事務局:

SNSでは、インスタ、Facebook、ツイッターは常に入れて活用している。火事などの緊急の場合は、緊急告知ラジオも入れながらやっている。AIの自動音声は本当に緊急な時は入っている。

いただいた意見を再度確認し、すぐにできることは行い、今後の番組編成の参考にさせていただく。